

2016年12月期第3四半期 決算説明資料

株式会社RS Technologies

1

14. Nov. 2016



注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 資料中で「生産能力」についての記載は、全て当社グループの“300mm再生ウェーハ”の能力を指しております。

2

14. Nov. 2016



2016年12月期第3四半期 決算情報

2016年12月期第3四半期決算情報 ☆ サマリー ☆

第3四半期は三本木工場・台南工場の生産・出荷は好調に推移し、おおむね事業計画の進捗通りです。
経常利益は、第2四半期に引き続き外貨資産・負債の評価損を計上しております。

単位：百万円

	2016年12月期 第3四半期	2015年12月期 第3四半期	前期比	2016年12月期 事業計画 (2016年1~12月)	進捗率
売上高	6,271	3,913	160.2%	7,740	81.0%
営業利益	890	848	105.0%	1,531	58.1%
営業利益率	14.2%	21.6%	▲7.4pt	19.7%	-
経常利益	491	720	68.2%	1,147	42.8%
経常利益率	7.8%	18.4%	▲10.6pt	14.8%	-
当期(四半期) 純利益	242	454	53.3%	742	32.6%

増収の主な要因

ウェーハ・機械装置販売の両セグメント売上好調によるもの

減益の主な要因

外貨建て資産と負債の評価損

- RSTec（日本）は外貨USD建て売掛金が円高のため約315（百万円）の評価損。
- 台湾子会社（台湾）は外貨建て債務・借入金が円高のため約120（百万円）の評価損。

中・長期的な経営方針

中・長期的な経営方針

- ①台湾子会社新設・三本木工場増設による**生産力拡大**
- ②再生市場での当社の**シェア拡大**
- ③伸長する**需要の取込み**
- ④潜在的な**再生市場の開拓**
- ⑤中国半導体マーケットへの**参入**

中・長期的な経営方針（進捗レポート）

- ①台湾子会社新設・三本木工場増設による**生産力拡大**
⇒両工場とも生産好調。
- ②再生市場での当社の**シェア拡大**
⇒両工場合わせ、シェアは30%超。
- ③伸長する**需要の取込み**
⇒3DNAND製造メーカーやファンドリーから需要を取込み。
- ④潜在的な**再生市場の開拓**
⇒当社の得意とするCUウェーハの再生ニーズ高まる。
- ⑤中国半導体マーケットへの**参入**
⇒当社のウェーハ事業に次ぐ機械装置・消耗材販売事業で順調に売上・利益を計上しております。